

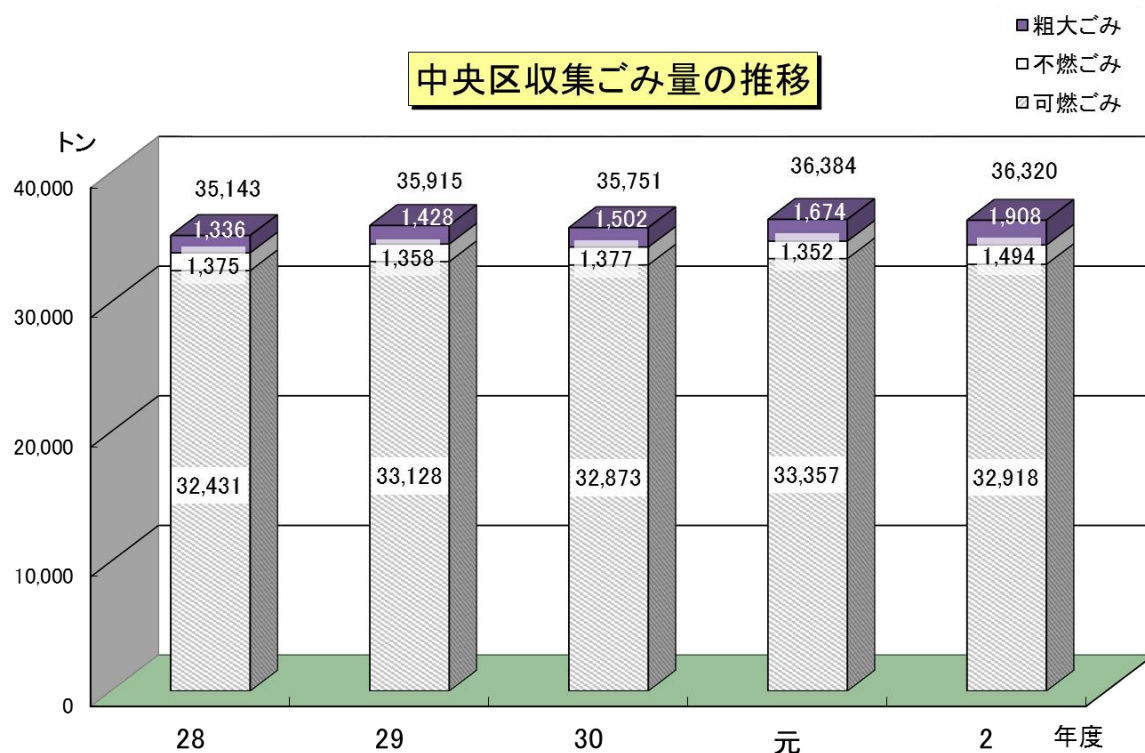
## 令和2年度 ごみ量及び資源回収量について

## 1 中央区収集ごみ量

令和2年度における中央区の区収集ごみ量は、36,319.97トンであった。これは令和元年度と比較して、量で約64トン、率にして0.2%の減少である。

内訳を見ると、可燃ごみは量で約439トン、率にして1.3%減少した。不燃ごみは量で約141トン、率にして10.4%増加した。粗大ごみは約234トン、率にして14%増加した。

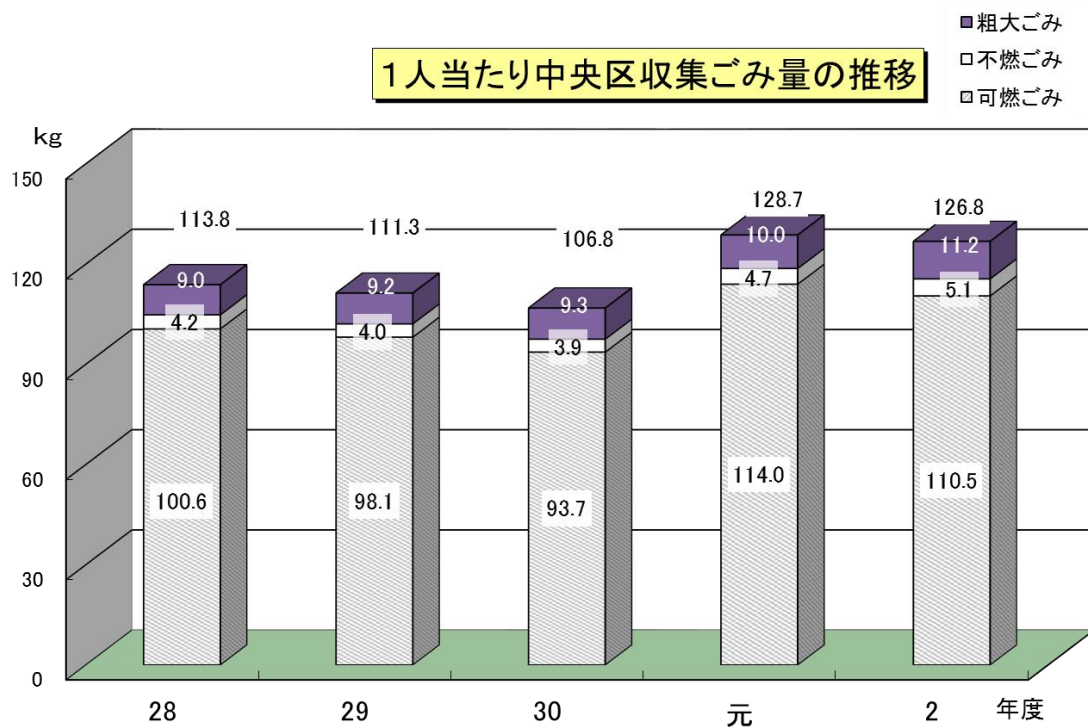
種 別	収 集 量 (t)		前 年 度 比	
	令和2年度	令和元年度	(t)	(%)
可 燃	32,918.10	33,357.31	△439.21	△1.3
不 燃	1,493.67	1,352.49	141.18	10.4
粗 大	1,908.20	1,674.36	233.84	14.0
計	36,319.97	36,384.16	△64.19	△0.2



注：表とグラフの数値について、端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合がある。

なお、下記表は、中央区収集量（前記表）を1人当たり収集量へ換算したもののだが、令和元年度と比較して、可燃を除き増加した。

種 別	1人当たり収集量 (kg)		前年度比	
	令和2年度	令和元年度	(kg)	(%)
可 燃	110.49	113.98	△3.50	△3.1
不 燃	5.10	4.70	0.40	8.5
粗 大	11.22	10.02	1.20	11.9
合 計	126.80	128.71	△1.90	△1.5



注：表とグラフの数値について、端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合がある。

1人当たり収集量とは、区収集のうち家庭系に按分されたごみ量を用いて計算している。区収集の家庭系と事業系分のごみ量の按分については、平成27年度～30年度は「平成26年度中央区ごみ排出実態調査」から、令和元年度からは「令和元年度中央区ごみ排出実態調査」から算出した次の比率である。

平成26年度中央区ごみ排出実態調査

・燃やすごみ	家庭系 46.0%	事業系 54.0%
・燃やさないごみ	家庭系 45.5%	事業系 54.5%

令和元年度中央区ごみ排出実態調査

・燃やすごみ	家庭系 57.1%	事業系 42.9%
・燃やさないごみ	家庭系 58.1%	事業系 41.9%

なお、上記収集量の計算において人口は、各年10月1日現在の数字を用いている。

## 2 中央区資源回収量

令和2年度における中央区の資源回収量（ステーション(集積所)回収・拠点回収、ピックアップ回収、集団回収）は、約14,596トンであった。資源回収量は、令和元年度と比較して、量で約1,999トン、率にして15.9%の増加である。ステーション(集積所)回収・拠点回収は9.4%増加し、集団回収は3.8%減少した。

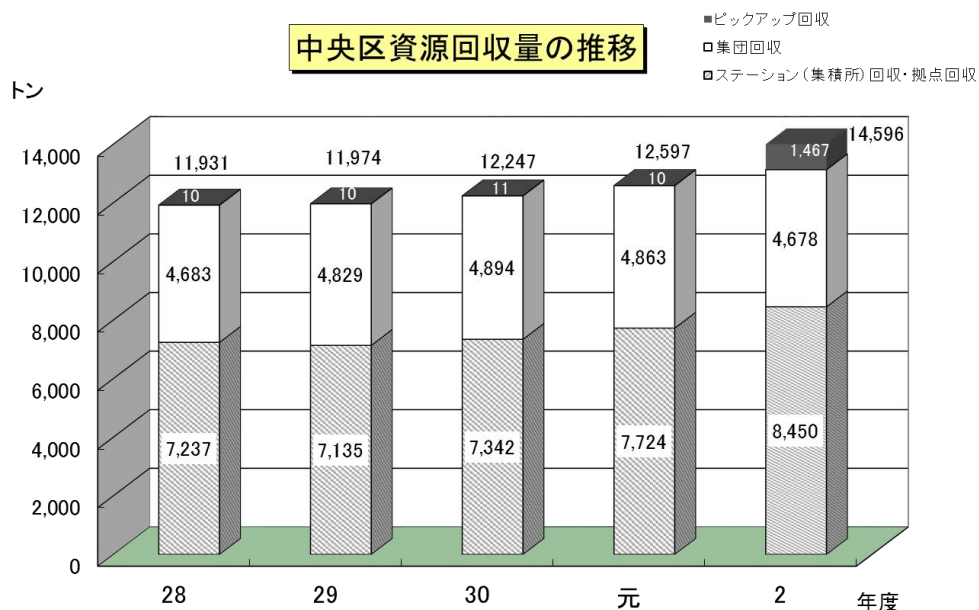
また、行政による回収の品目別回収量は、紙類、びんの順であった。

種 別	回 収 量 (t)		前 年 度 比	
	令和2年度	令和元年度	(t)	(%)
ステーション(集積所)回収・拠点回収	8,450	7,724	727	9.4
ステーション(集積所)回収	8,381	7,630	751	9.8
拠 点 回 収	70	94	△24	△25.5
ピックアップ回収	1,467	10	1,457	14570.0
集 団 回 収	4,678	4,863	△185	△3.8
合 計	14,596	12,597	1,999	15.9

### 《行政による回収の品目別回収量》

種 別	回 収 量 (t)		前 年 度 比	
	令和2年度	令和元年度	(t)	(%)
紙 類	3,267	3,044	223	7.3
布 類	15	65	△50	△76.9
缶	383	342	41	12.0
び ん	3,250	2,933	317	10.8
プラスチック類・その他	1,535	1,340	195	14.6
粗大ごみ(ピックアップ)	10	10	0	0.0
不燃ごみ(ピックアップ)	1,456	—	1,456	—
計	9,917	7,734	2,183	28.2

### 中央区資源回収量の推移



注：行政による回収品目の「プラスチック類・その他」には、電池等の品目が含まれる。

また、表とグラフの数値について、端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合がある。

## 資源回収量品目別合計量

《資源回収量品目別合計量》

(単位：t)

年度	紙類	びん	缶	金属製の なべ・や かん・ フライパン	ト レ イ	廃食 用油	布類	電 池 類	蛍 光 管	ペット ボトル	プラスチック 製容器 包装	水銀 使用 製品	小型 家電	粗大系 小型 家電	合計
28	7,693.66	2,386.81	500.50	8.82	1.41	2.33	83.62	10.16	0.99	733.89	497.62	0.03	0.62	10.46	11,930.91
29	7,659.29	2,451.86	468.66	8.18	1.40	2.28	80.35	10.09	1.13	781.88	496.73	0.02	1.94	10.49	11,974.30
30	7,598.21	2,685.48	475.42	8.66	1.48	2.50	88.83	9.85	0.96	856.11	505.76	0.01	2.81	10.68	12,246.76
R1	7,589.27	2,947.67	486.00	8.56	1.50	2.41	108.09	11.71	0.91	899.37	527.83	0.01	3.10	10.19	12,596.63
R2	7,691.67	3,268.24	524.73	9.30	1.64	2.18	38.57	10.21	1.24	956.50	595.60	0.03	4.44	10.32	13,114.67

注：端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合がある。

### (1) 分別回収

令和2年度の分別回収量は、8,380.75トンであった。これは、令和元年度と比較して、量で751.05トン、率にして9.8%の増加である。

《分別回収量品目別合計量》

(単位：t)

年度	紙類	びん	缶	金属製のなべ・やか ん・フライパン	ペット ボトル	プラスチック製 容器包装	合計
28	3,233.95	2,359.26	393.75	6.62	666.27	497.62	7,157.47
29	3,088.62	2,426.76	347.33	6.62	687.47	496.73	7,053.53
30	2,982.35	2,669.04	343.36	7.36	750.38	505.76	7,258.25
R1	3,034.21	2,933.36	342.12	7.89	784.29	527.83	7,629.70
R2	3,256.03	3,250.45	382.79	9.30	886.58	595.60	8,380.75

注：端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合がある。

### (2) 拠点回収

令和2年度の拠点回収量は、45.30トンであった。これは、令和元年度と比較して、量で48.76トン、率にして約51.8%の減少である。

## 《拠点回収量品目別合計量》

(単位：t)

年度	紙パック	トレイ	廃食用油	布類	電池類	蛍光管	水銀使用製品	小型家電	ペットボトル	合計
28	10.33	1.41	2.33	54.11	10.16	0.99	0.03	0.62	—	79.97
29	10.02	1.40	2.28	54.74	10.09	1.13	0.02	1.94	—	81.61
30	9.78	1.48	2.50	56.65	9.85	0.96	0.01	2.81	—	84.04
R1	9.74	1.50	2.41	64.68	11.71	0.91	0.01	3.10	—	94.06
R2	10.59	1.64	2.18	14.98	10.21	1.24	0.02	4.44	—	45.30

注1：平成26年4月から小型家電の拠点回収を開始

注2：平成27年3月まででペットボトルの拠点回収を廃止

注3：平成28年4月から水銀使用製品の拠点回収を開始

注4：端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合がある。

## (3) ピックアップ回収

令和2年度のピックアップ回収量は、10.32トンであった。これは、令和元年度と比較して、量で0.13トン、率にして1.3%の増加である。

## 《ピックアップ回収量品目別合計量》(単位：t)

年度	粗大系小型家電
28	10.46
29	10.49
30	10.68
R1	10.19
R2	10.32

【回収品目：電子レンジ・炊飯器・DVDプレーヤ】

※：平成26年4月から回収を開始

## (4) 集団回収

令和2年度の集団回収量は、4,678.31トンであった。これは、令和元年度と比較して、量で184.37トン、率にして3.8%の減少である。

## 《集団回収量品目別合計量》

(単位：t)

年度	紙類	びん	金属類	布類	その他 (ペットボトル)	合計	登録団体数
28	4,449.38	27.55	108.96	29.52	67.62	4,683.02	289
29	4,560.66	25.10	122.89	25.61	94.41	4,828.67	301
30	4,606.08	16.44	133.36	32.18	105.73	4,893.78	310
R1	4,545.32	14.31	144.55	43.41	115.08	4,862.68	323
R2	4,425.06	17.79	141.94	23.60	69.92	4,678.31	335

注：端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合がある。

### 3 23区ごみ量

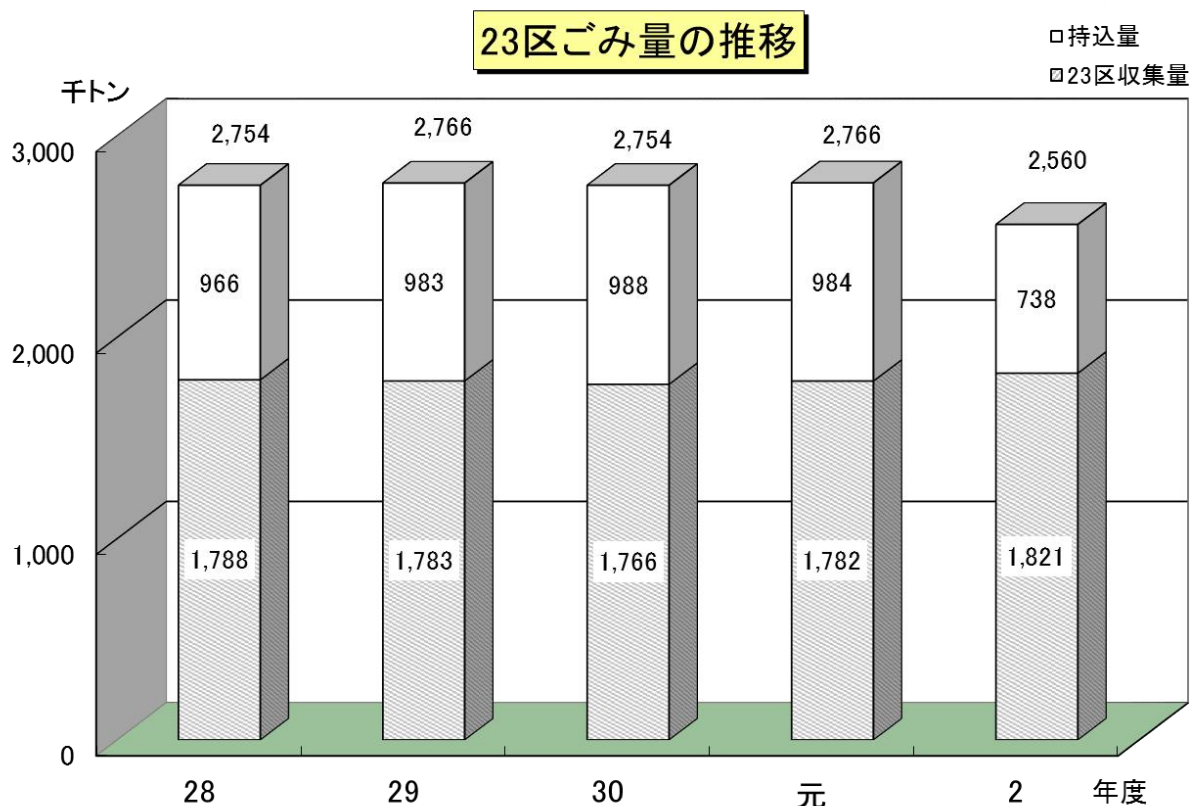
令和2年度における23区のごみ量は、区収集及び持込ごみ量を合わせて、2,559,812.52トンであった。これは令和元年度と比較して、量で206,503.43トン、率にして7.5%の減少である。

内訳を見ると、区収集ごみ量は、1,821,458.85トンで、前年度と比較して量で約39,298トン、率にして2.2%の増加である。

このうち、可燃ごみは量で約31,959トン、率にして1.9%増加した。不燃ごみは量で約208トン、率にして0.5%減少した。粗大ごみは量で約7,547トン、率にして11.7%増加した。

また、持込ごみ量は738,353.67トンで、前年度と比較して量で約245,802トン、率にして25.0%減少した。

種 別	収 集 量 (t)		前 年 度 比	
	令和2年度	令和元年度	(t)	(%)
区 収 集	1,821,458.85	1,782,160.75	39,298.10	2.2
可 燃	1,711,830.15	1,679,871.56	31,958.59	1.9
不 燃	37,573.53	37,781.06	△207.53	△0.5
粗 大	72,055.17	64,508.13	7547.04	11.7
持 込	738,353.67	984,155.20	△245,801.53	△25.0
計	2,559,812.52	2,766,315.95	△206,503.43	△7.5



注：表とグラフの数値について、端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合がある。



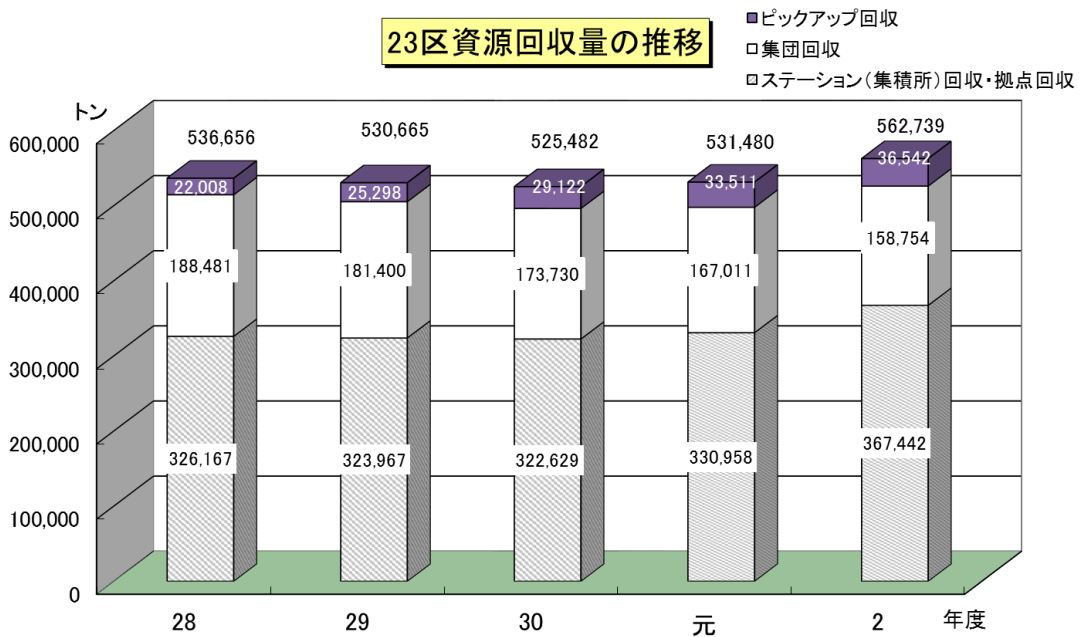
#### 4 23区資源回収量

令和2年度における23区の資源回収量（ステーション(集積所)回収・拠点回収、ピックアップ回収、集団回収）は、約562,739トンであった。資源回収量は、令和元年度と比較して、量で約31,259トン、率にして5.9%の増加である。

種 別	回 収 量 (t)		前 年 度 比	
	令和2年度	令和元年度	(t)	(%)
ステーション(集積所)回収・拠点回収	367,442	330,958	36,484	11.0
ピックアップ回収	36,542	33,511	3,031	9.0
集 団 回 収	158,754	167,011	△8,257	△4.9
合 計	562,739	531,480	31,259	5.9

《行政による回収の品目別回収量》

種 別	回 収 量 (t)		前 年 度 比	
	令和2年度	令和元年度	(t)	(%)
紙 類	177,169	157,061	20,107	12.8
布 類	2,799	2,760	39	1.4
缶 び ん	26,760	23,840	2,920	12.2
プラスチック類・その他	89,148	80,929	8,219	10.2
粗大ごみ(ピックアップ)	71,567	66,368	5,199	7.8
不燃ごみ(ピックアップ)	10,635	11,179	△544	△4.9
不燃ごみ(ピックアップ)	25,907	22,332	3,575	16.0
計	403,984	364,469	39,516	10.8



注：ステーション(集積所)回収・拠点回収については、回収形態が各区で異なるため、合算している。  
行政による回収品目の「プラスチック類・その他」には、電池等の品目が含まれる。  
また、表とグラフの数値について、端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合がある。